

母校の近況

新卒業生実力を発揮

— 大学進学状況 —

六十三年度入試は自己採点の復活、共通一次後に本出願、同一日程内の併願禁止等の変更があり、入試制度はめまぐるしく変化しています。

本年度の国立大学合格者の延べ人数は三九三(昨年三二五)となり、合格者数は増加した。各大学ともボーダーラインは高くなり、地元の占有率が低下してローカル色がなくなり、全国的な規模の構成となってきた。また、この受験方式のために成績上位者の浪人は大巾に減少した。内容も東大(五)京大(六)などと充実している。

一方、私大の合格者数は三七九(昨年四七八)であった。これは

本校の私大受験者の減少とともに、経済学部などがハイレベルの競争となり、現役の私大合格が難しくなったためである。ちなみに、難関私大の合格者の七割前後が浪人である。この傾向は今後も続くものと思われる。

本校においては常に建学の精神をふまえて堅実な教育を施し、その成果は着実にあがっている。生徒は、授業と部活動、それに学校行事とのバランスをとり、「人間として大切なところ」を豊かにしながら、受験的な力をつけている。そのような生徒であるから、進学後の大学生活も期待ができるものと思う。

大学等合格数(延人数)

区分	63年3月		62年3月		61年3月		60年3月		59年3月	
	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪	現	浪
国立大学	181	67	171	85	128	63	108	56	144	42
公立大学	38	7	48	21	14	16	13	17	24	16
私立大学	187	192	267	211	269	222	174	235	240	217
短期大学	8	4	9	6	15	6	9	4	16	1
準大学・専門・各種学校	4	7	10	1	3	4	12	1	21	2
計	418	277	505	324	429	311	316	313	445	278

63年度主な大学別合格数

北小	1	3	2	3	3	2	2	7	10	11	13	14	14	4
海商	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
道科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前手	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
北田	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
形島	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
茨波	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
筑波	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
宇都	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
群馬	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
千葉	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
埼電	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東電	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1



サッカー部監督に就任して

長谷川 一二三

卒業して二十一年目に母校にサッカー部の顧問として赴任できました。光栄に思っております。

土重来を期して毎日毎日の練習を積み重ね、より充実させ、顧問選手一丸となって精進していきたいと思っております。

高校総体サッカー県大会

惜しくも準優勝

今年度の高校総体は、長谷川新監督のもと「新生藤枝東」として県代表の座をめざし臨んだ大会であった。中部大会での滑り出しは県大会出場さえ危ぶまれるような試合の連続であったが、勝ち進むにつれ、本来の力を発揮するようになり決勝では強豪清水商に2-1で圧勝するまでとなった。中部一位で臨んだ県大会では、苦戦しつつもDF陣の頑張りで見事な勝利を収めた。3年生主体の今年度は断られた。

チームは、県代表となるに充分な力を秘めており、選手権大会が期待される。

県大会試合結果
一回戦 藤枝東3-10長泉
二回戦 藤枝東1-10富士宮西
三回戦 藤枝東1-10聖隷
準決勝 藤枝東1-10沼津学園
決勝 藤枝東0-1東海大一

東海総体試合結果
一回戦 藤枝東3-13岐阜工
(延長)(岐阜一位)
PK戦の結果敗退

テニス・陸上も東海総体へ

高校総体の東海総体に出場したのはテニス部の福津文さん(31HR)と陸上部の密岡正悟君(36HR)でした。

個人女子シングルス
男子砲丸投
東海大会 準優勝 十四m四十九 六位
東海大会 準優勝 十三m九十 十二位

事務局だより

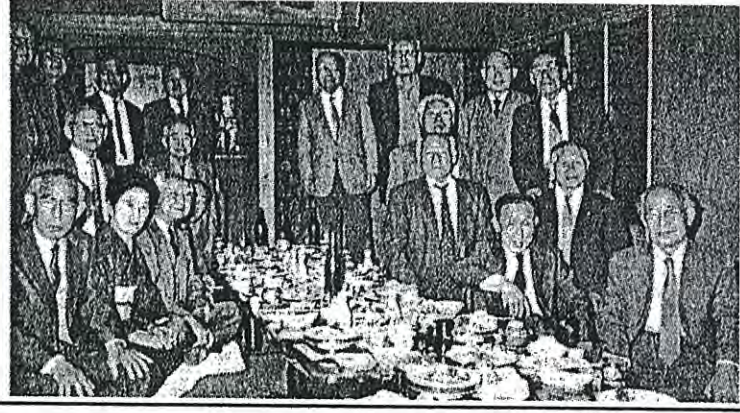
同窓生の活躍されている消息・著作物など会報に掲載したいと思っておりますので記事を事務局へお寄せ下さい。

同窓会名簿の訂正とお詫び
第31回33年卒 櫻井 幹允様
千四六 藤枝市藤枝五八一七
桜井総合事務所 東海不動産
(電話)四一三三二(自宅)

思い出話に花

志太中第一回生同期会

第一回の卒業生が四月十七日、藤枝市内で同級会を開いた。昭和四年に本校を卒業した一期生らは今年七十七歳。恒例の会合のためには東は仙台、西は神戸から懐かしい顔が集まり、旧交を温めた。



志太中第九回生同期会

志太中九回卒業生は毎年、静岡、焼津、藤枝南、藤枝北、島田と持ち廻り同期会を行っていたが、本年初めて一泊しての会を催した。



志太中九回卒業生は毎年、静岡、焼津、藤枝南、藤枝北、島田と持ち廻り同期会を行っていたが、本年初めて一泊しての会を催した。



文・熊谷哲郎(静石)